

政策評価・事務事業評価シート

【事業名称】 おおたスポーツアカデミー運営委託事業

	H29年度予算額	H28年度決算額	H27年度決算額
事業費	22,900,000円	21,986,543円	15,883,254円

事業評価チェック表

PLAN	・事業の概要 ジュニアスポーツ競技者の強化育成及び普及啓発を積極的に推進し、競技力向上はもとより、健全な青少年育成に寄与する。 ・ねらい ・各部（本校）開催事業：ジュニア世代のスポーツ普及啓発を図るとともに、トップアスリートを輩出するべく強化体制を確立する施策を講じる。同時にスポーツを通じた青少年の健全育成を図る。 ・各部（支部）支援事業：地域におけるスポーツの普及及び底辺拡大を図るため、支部活動に対し公的支援を行う。 ・特別活動各種事業：大会、合宿、強化練習会、講習会等に積極的に参加し、競技力の向上と意識改革を図る。 ・スポーツ指導者派遣事業：専門的知識を持つ優秀な指導者を派遣することにより、スポーツ選手のより一層の技術力の向上を図る。 ・予算 平成28年度当初予算 22,900,000円 ・平成28年度決算額（事業費+会員収入） 49,388,643円				
	DO	・事業実績 ・各部（本校）開催事業：16種目 26部（受講者数1,435人、指導者数312人）活動回数 24回から170回 ・各部（支部）支援事業：10種目 18支部（受講者数 922人、指導者数 113人）活動回数 週1回から4回実施 ・特別活動各種事業：大会、合宿、強化練習会、講習会等（平成28年度実績 174事業） スキー教室 2回実施、体験教室 2回実施・チャンピオンシップ開催 13種目 220チーム参加 ・スポーツ指導者派遣事業：市立太田高校指導者派遣 陸上部・ソフトボール部・バスケットボール部・レスリング部・硬式野球部 市立東中学校指導者派遣 柔道			
CHECK	評価項目	評価基準	評価（該当欄に○）	評価コメント	
	必要性 （市民ニーズ）	きわめて必要性が高い			子ども達が多様なスポーツに親しむと同時に高度な指導を受ける機会を身近に整えており、子育て環境整備の面からは、必要性の高い事業である。当該事業利用の目的で市外から転居者が散見されるなど、その魅力度は高い一方で、利用者が限定的である点是否めず、総合的な市民の理解を得ることも重要と思われる。
		必要性が高い		○	
		どちらかと言えば必要性がある			
		必要性が低い			
		必要性がない			
	公共性 （民間委託・移譲できないか）	民間委託・移譲できない			青少年の健全育成という目的から、公共性に適う。その特性から、指導面では、各競技団体の理解や善意による支えで事業の成立をみる部分も大きい。他方で、より専門的な指導による強化や受講希望者の受入拡大を望む声もあり、指導者確保の面から、民間のスポーツクラブ等の人材活用も視野の一部に入れ、検討すべきである。
		民間委託・移譲することは難しい			
		民間委託・移譲することも検討		○	
		一部民間委託・移譲すべき			
		全て民間委託・移譲すべき			
	費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	きわめて効果的である			受講料等の他に生じる大会参加負担金や合宿負担金等の負担ルールが確立されているため、過大な市の負担はない。相応の利用者負担がある中でも、受講希望者は多く、スポーツ愛好者の底辺拡大に効果を発揮している。また、卒業生に世界レベルで活躍する選手が登壇していることは、強化面での効果をも明示するものである。
		効果的である		○	
		どちらかと言えば効果的			
どちらかと言えば非効果的					
非効果的である					
優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	きわめて優先性が高い			本市の看板事業として定着しており、子育て環境整備や青少年の健全育成の観点から優先性は高い。また、活力のある現在の本市を形成する牽引役となってきた、特色ある事業の1つであると言える。	
	優先性が高い		○		
	どちらかと言えば優先性がある				
	優先性が低い				
	優先性がない				
成果 （目標の達成状況）	きわめて成果があがっている			関東、全国大会等へ出場するなど、子ども達の力を発揮する場が広がり、更には卒業生からプロや世界レベルで活躍する選手を輩出するなど、おおたスポーツアカデミーの認知度は高まっており、その成果があがっていると言える。	
	成果があがっている		○		
	どちらかと言えばあがっている				
	どちらかと言えばあがっていない				
	成果はあがっていない				
総合評価	きわめて良好である			全国から注目される本市の魅力ある事業であるが故、課題も浮き彫りにならざるを得ない。優秀な選手の市外流出、需要に見合うだけの指導者の確保と受講希望者の受入拡充、学校での部活動やスポーツ少年団との権衡と関係性の明確化等の問題解消が期待される。	
	良好である				
	おおむね良好である		○		
	問題がある				
	不適正である				

ACTION	改善 （今後の方向性）	評価基準	評価（該当欄に○）	議会評価（今後の事業展開）	
		拡充する		強豪選手を輩出する本事業の成果は、広く認知される。一方、子どもたちのスポーツ環境は、ひとり親や共働き家庭の増加などにより変化し、練習や大会に送迎を要するスポーツ団体への参加を断念する例も多い。また、学校の部活動においては、少子化による種目の減少や指導者不足などにより、十分に機能を果たし得ない。この現状を鑑みたとき、本事業の指導者派遣、地域に出向いた活動、既存の部活動の枠組みを超えた活動に更なる創意工夫を加えることで、より多くの子どもにスポーツを通じた仲間との団結、切磋琢磨、技能向上の追及を実現させ、心身を磨く機会を提供し得ると考える。本事業の発展可能性は高く、その進化に大いに期待する。	
		現状のまま継続する			
		改善・効率化し継続する			○
		見直しのうえ縮小する			
		廃止する			